

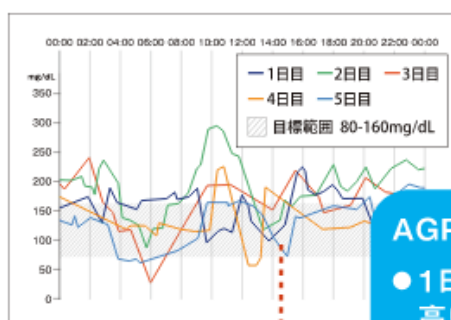
FreeStyle リブレ AGP の見方をマスターしよう！

AGP とは

血糖値の変動の傾向を5本の解析曲線で分析し、わかりやすくグラフで示したものです。

AGP で解析すると

1日のうちで低血糖/高血糖となる可能性が高い時間帯を知れ、変動が大きい時間帯を視覚で把握できるようになります

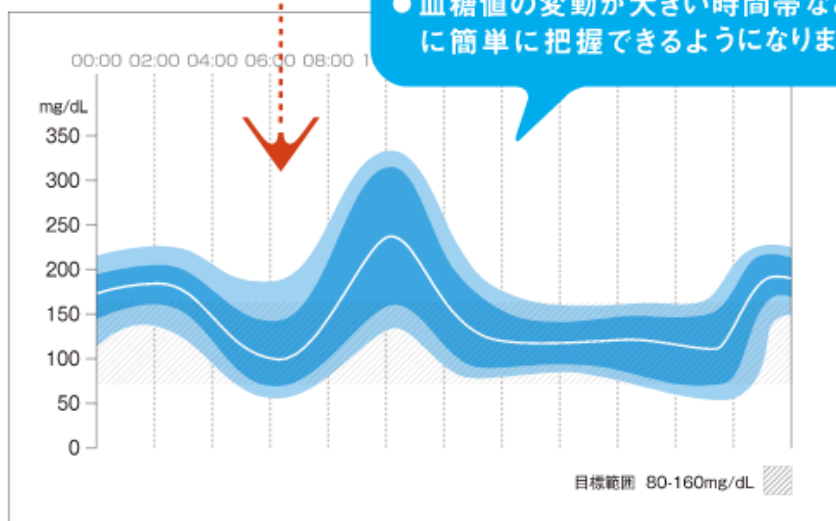


日によって異なる複数の血糖トレンドの曲線から、1日のうち「どの時間帯に」「どのような変動を」起こすことが多いのかを読み取るのは難しい。



AGPで解析すると、

- 1日のうちで低血糖/高血糖となる可能性の高い時間帯
- 血糖値の変動が大きい時間帯などが視覚的に簡単に把握できるようになります。



AGP でこれが分かる！！

- ① 低血糖リスクの確認
- ② 目標範囲との比較
- ③ 日内変動
- ④ 日差変動

★当院では目標範囲を 70-180 mg/dl に設定しています。

中央値

中央値曲線の上下動が大きい箇所は、一日の中で血糖変動が大きい時間帯であることを示しています。

青色帯 (25・75 パーセンタイル曲線)

各時間帯で、例えば10日間のうち5日間はこの範囲内に血糖値が入ります (50%の確率)。

水色帯 (10・90 パーセンタイル曲線)

各時間帯で、例えば10日間のうち8日間はこの範囲内に血糖値が入ります (80%の確率)。

※青色帯や水色帯の幅が広いと、その時間帯は日によって血糖値のばらつきが大きいことを示しています。

*見方のポイント

Point1

青色帯・水色帯ともに**目標範囲内**に収まっていることが多いかを確認します。目標範囲外の箇所では、低血糖なのか、高血糖なのかも確認しましょう。

Point2

低血糖のときはあるか、それはどの時間帯に起こるのかを確認します。

Point3

中央線の上下動が大きくないかを確認します。この線の上下動が大きいと、一日のうちで血糖変動が激しい時間帯であることを示します。



Point4

青色帯が広くないかを確認します。

この幅が広いほど、その時間帯の血糖値は日によってばらついていることがわかります

血糖のトレンド（血糖変動）をみることのメリット

*食後高血糖（**血糖値スパイク**）の有無が確認できる

*夜間低血糖や暁現象の有無が確認できる

*HbA1c の値だけではわからない、「血糖コントロールの質」を把握できる



リブレセンサーを使ってより豊かな生活を送ってみませんか？

たかベククリニック看護師：廣瀬 文責：高部 糖尿病専門医

参考資料

<https://www.myfreestyle.jp/hcp/agp/overview/>